

上下の絵を見くらべて、まちがいを8カ所見つけてね。全問正解された方のうち、抽選で10人の方に図書カードもしくはラブーナの湯無料利用券をプレゼントします。

応募締切

4月15日(火)

企画広報課 ☎66♦1145

応募方法

ハガキまたはファクスに、①答え(左の絵に○をつける)と②住所・③氏名(ふりがな)・④年齢・⑤電話番号・⑥広報紙の感想、ご意見などを書いて応募してください。なお、当選者のお名前を広報がまごおり6月号に掲載しますので、ご了承ください。

送り先

〒443-8601 旭町17-1
企画広報課「クイズ」係
FAX66♦1190



今号からの昔話は寝釈迦についての創作昔話を連載します！

ねじやかさん①

文：西島 諒

蒲郡は三河の海に、おおきなそれはおおきなお釈迦さまが眠っています。
きらきらと光る海に向け、村の子どもが指をさしました。

「おつとう、なんであんなとこに大男が寝てるの？」
「おお、坊、気付いてくれたか。あの大男はお釈迦さまなんじゃ。坊が生まれるずっと前からもうあそこの海におるんだわ」

「おつとうが生まれるまえから？」
「おお、わしのおつかあが生まれるよりもっともつとまえたわな」
「へえ。んで、なんであんなところで寝とるたん？」
「おつとうは立派なあこひけをひとなでして、につこりと笑って話し始めました。」
「これはな、わしのおつかあに聞いた話じゃ。おつかあはばあちゃんに聞いたそうじゃ…」

むかしむかし、この国とはちがう、とおいとおい国でお釈迦さまは生まれたそうじゃ。お釈迦さまは生まれてすぐに立つて、右左それぞれ指で空と地面とを指差して「天上天下唯我独尊」と言ったそうじゃ。

なに？意味がわからんって？
ふうむ…わしもよくわからんが、『この世のどんなものより、【自分】というものが尊い』てな意味じゃないかのう。

まあ、生まれたばかりの赤ん坊がどれくらいことを言ったもんで、そりゃー周りは驚いて、神様の生まれ変わりがかと言っ者もおったそうじゃわ。

そんなお釈迦さまも大きくなって、わしらにはわからんような辛い修行をして、神様の声を聞いたらしいんだわ。それをいろんな人にな、教えてまわったんだ。自分の国を飛び出して、となりの国へ。そこでも話し終るとまたとなりの国へ行ってな。くるりと回って自分がうまれた国に帰ってきたときには、ちょうどわしくらいの歳になったそうじゃ……。

つづく



◆2月号の答え

2月号クイズまちがいがさじ(硯川と腰掛石)の当選者
応募総数63通
正解者59人
当選者(敬称略・50音順)
宝町 井端妃美子
神ノ郷町 岩瀬正子
拾石町 千賀勝代
本町 竹内 守
竹谷町 中川万梨子
一色町 中瀬智寿子
三谷北通 中村愛理
形原町 藤井美千代
三谷町 松下哲也
形原町 松山 剛
おめでとつございます。賞品は4月初旬に発送します。